

施工手順書④-1

クローゼット

折れ戸

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

- | | |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①木工事 | ①-1.木工事・標準仕様 / ①-2.木工事・準耐火仕様 |
| ②クロス・塗り壁工事 | |
| ③扉・金物の取付 | ③-1. 片開き戸、親子戸
③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)
③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)
③-4. 片引き戸(床付レール) |

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

- | | |
|------------|-------------------------------------------------------|
| ④クローゼット | ④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸
④-3. スライド片開き戸 |
| ⑤オートマチックドア | ⑤-1. 片引き戸(上吊) ⑤-2. 片開き戸 |
| ⑥ヴェトロ | ⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 片開き戸 |
| ⑦カエサル | ⑦-1. スイングドア、サイドガラスユニット |
| ⑧マルコ | ⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊) |
| ⑨フィット | ⑨-1. スイングドア ⑨-2. 片引き戸(上吊) ⑨-3. 2枚引違い戸(上吊) |

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので、扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



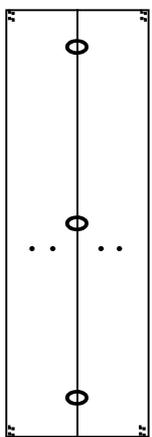
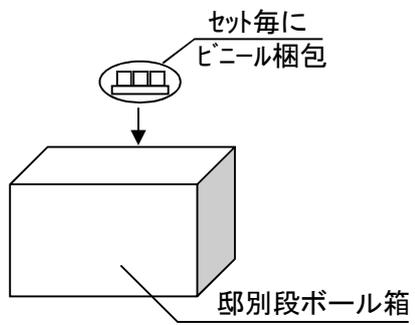
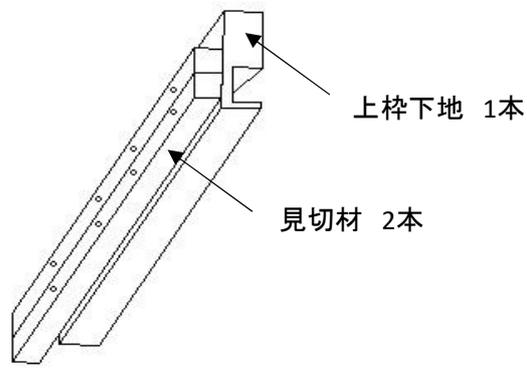
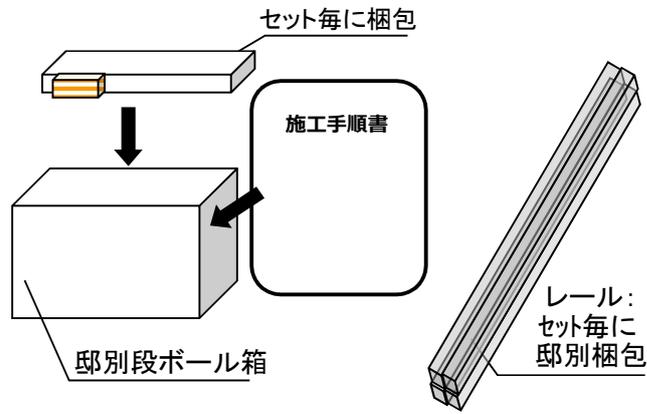
● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

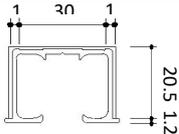
● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□納品形態

扉と同時に納品されるもの	
建具	建具金物箱
	
下地枠と同時に納品されるもの	
下地枠	下地金物箱とレール
	

□金物箱の梱包内容

下地金物箱	2枚 固定折れ戸	4枚 固定折れ戸	3枚 折れ開き戸	2枚 フリー折れ戸	4枚 フリー折れ戸	6枚 フリー折れ戸
上レール(取付ビス含む) 	1本	1本	1本	1本	1本	2本
上ローラー 	2個	4個	3個	2個	4個	6個
下ローラー 	1個	2個	2個	2個	4個	6個
固定金具 	1個	2個	2個	-	-	-
4枚用振止め金具 	-	1個	-	-	-	-
3枚用振止め金具 	-	-	1個	-	-	-
打込スペーサー 	1個	1個	1個	1個	1個	1個
下部レール (取付ビス含む) 	-	-	-	1本	1本	2本
上部ストッパー (レール端部の隙間隠し用) 	2個	2個	2個	2個	2個	2個
化粧キャップ 	H24 : 12個 H27 : 24個					
下部ストッパー 	-	-	-	2個	2個	2個
建具金物箱	2枚 固定折れ戸	4枚 固定折れ戸	3枚 折れ開き戸	2枚 フリー折れ戸	4枚 フリー折れ戸	6枚 フリー折れ戸
取手 (2型・5型にはつきません) 	1個	2個	2個	1個	2個	3個

施工前の確認事項

上枠下地・見切り材を取り付ける前に、開口部の巾（図面：下地枠内ボード内）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。
（見切り材は床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）

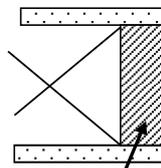
【注意事項】

※1 見切り材は躯体（構造材）と面接合するように取り付けますので、見切り材の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。

※2 施工前のW寸法確認には、図面上の下地枠内寸法（ボード内）を確認してください。

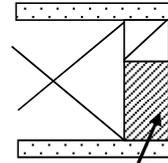
※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

※1



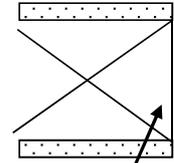
隙間がある

×



隙間がある

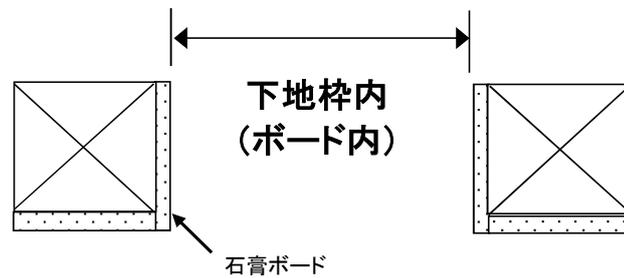
×



隙間なし

○

※2

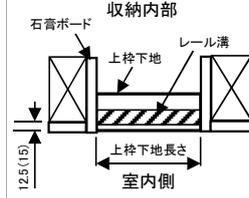


上枠下地の取付け

上枠下地を接着剤・取付ビス併用にてマグサに固定します。(断面の狭い方が開き側)

その際、上枠下地は壁のボード面からの位置となりますので、柱面からボード厚み分12.5mm(15mm)前を出して取り付けてください。(長さはボード内からボード内の寸法となります)

※ () 内寸法は準耐火納まりの場合を示します。



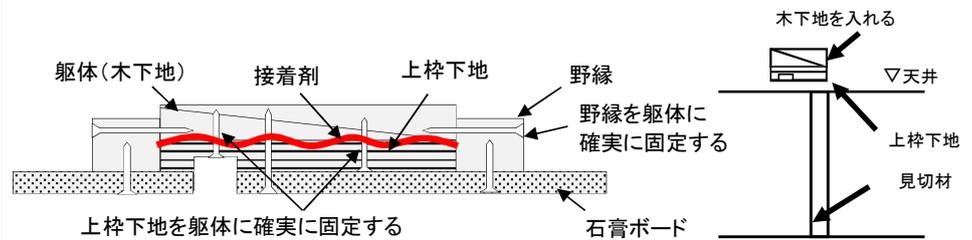
下地裏面に
接着剤全面塗布

下地表よりビス固定

上枠下地の取付位置
標準：12.5mm 準耐火納まり：15mm

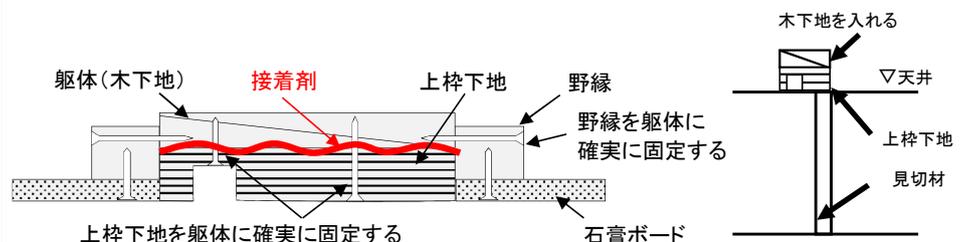
<天井ボード勝ち納まり (標準) の場合>

野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードをレール溝に合わせて野縁と上枠下地に固定してください。



<上枠勝ち納まりの場合>

枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。

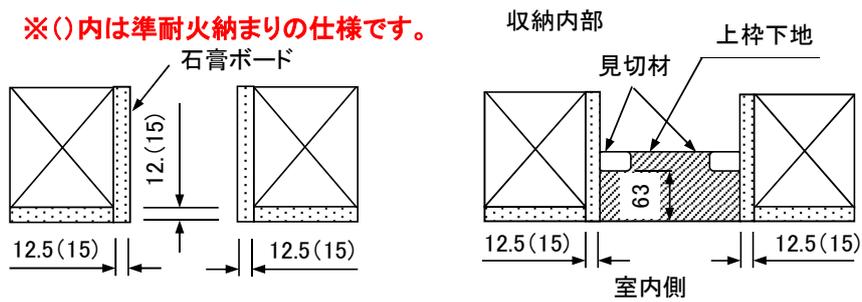


ポイント

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
- ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用してください。また、上枠下地をビス止めする際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。
- ※上枠下地の裏側には、必ず20mm(準耐火納まりの場合、30mm)以上の木下地を入れてください。
- ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロス割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。

見切り材の取付け

柱に石膏ボードを取付けます。見切り材を石膏ボードの上から面付けします。
 取付位置はボード面から63mm入った所に取付けます。その際、上枠下地と見切り材の端が合うように取付けてください。
 <石膏ボード厚>
 標準：12.5mm
 準耐火仕様：15mm



ポイント
 ※見切り材は石膏ボードの上から直接取付けてください。
 ※収納内部に棚を設置する場合は、見切り材から10mm以上離れた位置から取り付けてください。

シンプル幅木の取付

幅木を接着剤で見切り材まで回して取付けてください。
 接着剤はVカット部も接着剤を塗布してください。

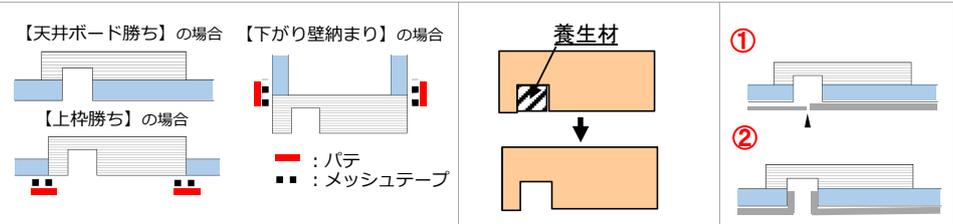


接着剤全面塗布 (推奨：酢ビ系)
 幅木の取付け方
【注意事項】
 幅木コーナー役物のVカット部も接着剤を塗布して下さい。

ポイント
 ※出荷時には、シンプル幅木の切欠き加工がされています。
 高さ30mm以上の幅木をご使用の場合は、現場で高さ方向の切り欠きを行ってください。
 ※厚さ7mmを超える幅木(現場手配品)には対応していません。

クロス施工

パテ等の下地処理をした後で、クロスを貼ってください。
 (メッシュ→下塗り→上塗りをお奨めします)
 上枠下地にクロスを貼る際は、レール溝に入っている養生材を取り外してからクロスを貼ってください。



上枠勝ち、下がり壁納まりの場合、上枠と石膏ボードの接合部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行う
 養生材を取り外す
 ①
 ②
 レール溝に切目を入れ、クロスを巻込む

ポイント
 ※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばしてレール溝に巻き返してください。

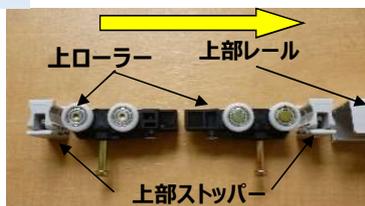
上部レールの取付

【開閉様式別】

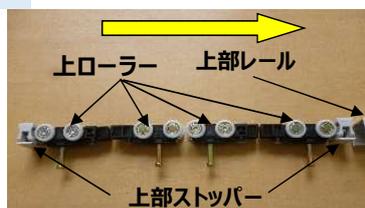
上部レールを取り付ける前に、上ローラー・上部ストッパー（3枚の場合は上部マグネットキャッチも）を上部レールの内部に挿入して、レールを取り付けます。

レール・上ローラー・上部ストッパー・マグネットキャッチは別途、金物箱にあります。

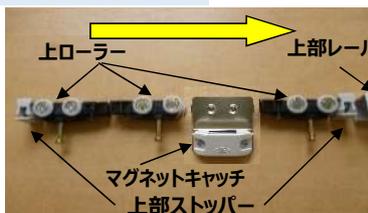
2枚固定・フリー折れ戸



4枚固定・フリー折れ戸

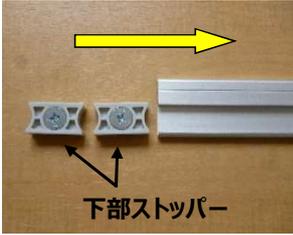


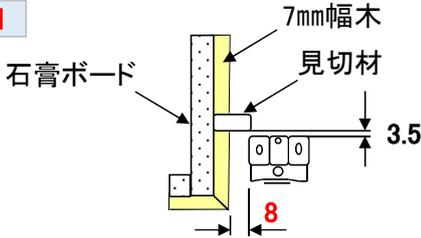
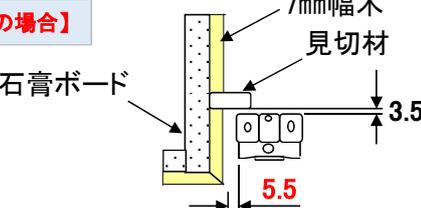
3枚折れ開き戸（左側折戸・右側片開き）

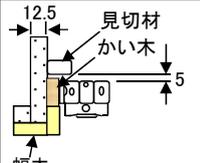


3枚折れ開き戸（左側片開き・右側折戸）



下部レールの取付 (2枚/4枚/6枚フリー折れ戸)			
<p>下部レールを取り付ける前に、下部ストッパーをレール内部に挿入してレールを取り付けます。 レールは壁面の幅木から18.5mm離れた所に取り付けてください。 レール・下部ストッパー・下部キャッチは別途、金物箱にあります。</p> <p>※下部レールは床埋込みではなく、置型レールなのでフローアからビス止めしてください。</p>	 <p>下部ストッパー</p>	 <p>※幅木は7mm厚想定</p>	
	<p>下部ストッパーをレールに入れる</p>	<p>レールを幅木の前面から18.5mmに合わせて取付ける</p>	

下部固定金具の取付 (2枚/4枚固定折れ戸・3枚折れ開き戸)	
<p>下部固定金具を右表の通りに取付けます。 この設定は、壁面側に7mm幅木をまわす前提での設定となります。 下部固定金具は別途、金物箱にあります。 ※取付の際は、未調整の状態を取付けて下さい。</p> <p>※下部固定金具は、床がフローア等の木材の前後でビス固定となりますので注意してください。 ※4枚折戸・3枚折戸の場合は、左右対称の位置となります。</p>	<p>【標準の場合】</p>  <p>7mm幅木 見切材 石膏ボード 3.5 8</p>
	<p>【準耐火仕様の場合】</p>  <p>7mm幅木 見切材 石膏ボード 3.5 5.5</p>

壁付用下部固定金具の取付 (別途単品手配品)			
<p>納まりのR/Lの勝手を確認して、L勝手の場合は金物の組み替えを行ってください(納入時はR勝手にて納入されます)。 ※金物は別途単品にて手配ください。</p>		 <p>型プレート 本体</p>	 <p>L型プレート 本体</p>
	<p>L勝手の場合は前後調整のビスを外す</p>	<p>本体からL型プレートを外す</p>	<p>L型プレートの向きを逆にする</p>
<p>壁付用下部固定金具を壁厚方向の壁面に取り付けます。 壁面が12.5mmボードの場合、厚み5.5~7mmのかい木を当てて、見切材から5mm離れた所で壁側に固定してください。その際、12.5mmボード時、壁厚方向に幅木をまわさない場合でも、「かい木」は必ずご利用ください。</p>	 <p>かい木</p>	 <p>見切材 かい木 5 幅木 12.5</p>	 <p>ビス固定</p>
	<p>【12.5mmボードの場合】 厚み5.5~7×巾22mm以上×高さ61mm以上のかい木を当て壁付用下部固定金具を取付</p>	<p>【準耐火納まりの場合】 壁付用下部固定金具の取付け ※壁厚方向には幅木を回さない</p>	
<p>ポイント</p>	<p>※壁付用の下部固定金具は別途単品にて手配ください。 ※12.5mmボードの際、壁厚方向に幅木をまわさない場合でも、かい木を使用してください。 ※金物を取り付けた後、左右方向の調整にて戸先側へ寄せてください。</p>		

下ローラーの取付

【共通】

建具を吊り込む前に、下ローラーを建具の下部小口面に打ち込みスペーサーを使って取り付けてください。
 下ローラーは別途金物箱にあります。



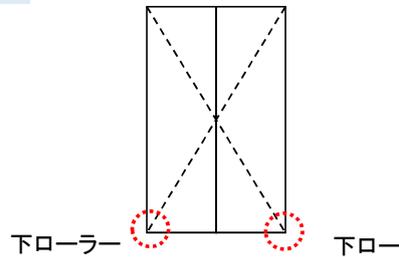
【開閉様式別】

2枚折戸は吊元側、4枚折戸はそれぞれの吊元側、3枚折戸は折戸の吊元側と片開き戸の吊元側にそれぞれ取り付けてください。

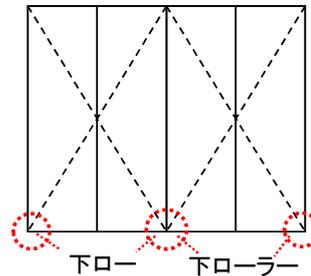
※下ローラーの取り付けは必ず打ち込みスペーサーを使用し、下ローラーの頭を直接叩かないようにしてください。

(直接叩くと、下ローラーが機能しなくなる恐れがあります)

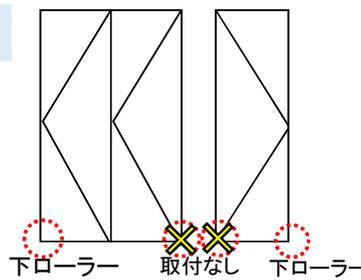
2枚固定/フリー折れ戸



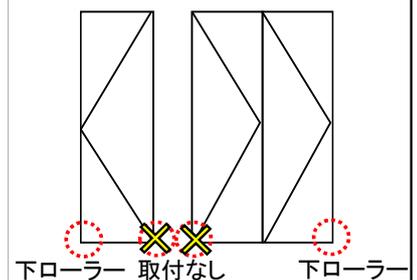
4枚固定/フリー折れ戸



3枚折れ開き戸

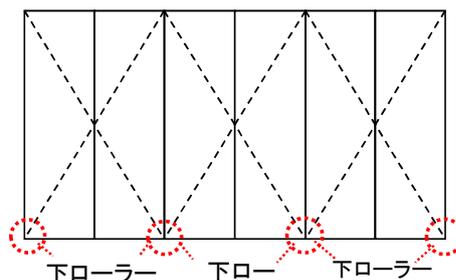


《左側折れ戸・右側片開き戸の場合》

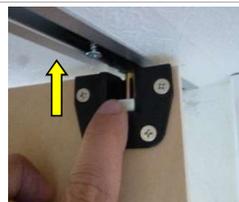


《左側片開き戸・右側折れ戸の場合》

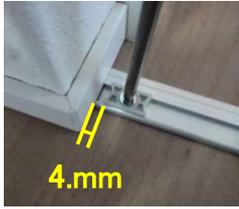
6枚フリー折れ戸



扉の吊り込み

<p>【共通】</p> <p>上ローラーのピンに扉を上を持ち上げながら、ベースカップを片側ずつ差し込みます。その際に確実に差し込んだ「カチッ」という音を確認してください。</p> <p>建具をはずす時は白い樹脂部分を上に持ち上げ、建具をスライドさせながら外します。</p>				
<p>【開閉様式別】</p> <p><2枚/4枚固定折れ戸・3枚折れ開き戸></p> <p>吊元側の下ローラーをスライドさせながら、固定金具に差し込みます。その際に確実に差し込んだ「カチッ」という音を確認してください。その後、上ローラーの固定ビスを、レール端部から上ローラー端部まで82mmの所で取り付けてください。</p>	<p>2枚/4枚固定折れ戸・3枚折れ開き戸</p> 			
<p><2枚/4枚/6枚フリー折れ戸></p> <p>下ローラーを下部レールにスライドさせながら差し込みます。その際に確実に差し込まれていることを確認してください。</p> <p>3枚の片開き戸は、あらかじめ下レールに挿入してある下部キャッチに、下ローラーをスライドさせながら差し込んでください。</p>	<p>2枚/4枚/6枚フリー折れ戸</p> 			
<p>ポイント</p>	<p>※上ローラー・下ローラーが確実に入った事を確認してください。</p> <p>※建具を吊り込む際、上ローラー・下ローラーが確実に入るまでは脱落やキズの可能性がありますので、注意してください。</p>			

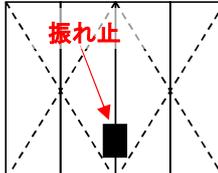
建具の調整・固定

<p>【共通】 上下方向の調整は、上ローラーの横についているビスにて行います。 (調整範囲±2.0mm)</p>	 <p>上・下の調整 時計回りは建具が上がる</p>	 <p>上・下の調整 反時計回りは建具が下がる</p>		
<p>【開閉様式別】 <2枚/4枚固定折れ戸・3枚折れ開き戸> 前後・左右の調整は、固定金具の固定ビスをゆるめて、プレート进行调整させていただきます。 (前後調整範囲±2.0mm) (左右調整範囲±3.0mm)</p> <p>すべての調整が終わったら、上ローラーの固定ビスを完全固定し、上部ストッパーをそれぞれ両側の端で固定します。</p>	 <p><前・後の調整> 固定ビスをゆるめてスライド</p>	 <p><左右の調整> 真ん中のビスをゆるめてスライド</p>	 <p>上部ストッパーの固定 (レール端部の隙間隠し用)</p>	
<p><2枚/4枚/6枚フリー折れ戸> 上部・下部ストッパーをそれぞれ両側の端で固定します。</p>	 <p>7mm 上部ストッパーの固定 (レール端部から7mm離す)</p>	 <p>4.5mm 下部ストッパーの固定 (レール端部から4.5mm離す)</p>		
<p>ポイント</p>	<p>※上下方向の調整は、時計回りが建具が上がり、反時計回りが下がります。 ※固定は必ず手動ドライバーにて行ってください。</p>			

取手・化粧キャップの取付

<p>取手付の場合、取手によって取付け穴が違います。建具の裏面に半貫通の穴があいていますので、勝手に合わせて下穴を貫通させて取り付けてください。</p>			
<p>その後、化粧キャップを見切材に取り付けてください。(化粧キャップは別途、金物箱にあります)</p>	<p>建具裏面の半貫通穴(Φ4.5)をドリルで貫通させる</p>	<p>取手の取付</p>	<p>化粧キャップの取付</p>
<p>ポイント</p>	<p>※下穴を貫通させる時は、垂直に穴を開けてください。 ※化粧キャップを取り付ける時は当て木をしてハンマーで叩き込んでください。</p>		

振止め・マグネットキャッチの取付 (4枚固定折れ戸・3枚折れ開き戸)

<p>【開閉様式別】 <4枚固定折れ戸> 建具と建具の間に振止めを取り付けます。下端より80mm程度の所に取り付けて下さい。</p>				
<p><3枚折れ開き戸> 建具と建具の間に振止めを取り付けます。下端より80mm程度の所に取り付けて下さい。</p>				
<p>振止めの取付 (片開き側が受け側、折戸が本体)</p>		<p>上部マグネットキャッチ受けの取付 (片開きが受け/上木口から2mm、横木口から10mm離して取付)</p>	<p>扉に取付けた上部マグネットキャッチ受けに合わせてレールにマグネットキャッチをレールに固定</p>	
<p>ポイント</p>	<p>※3枚折戸の振止めは、受けが片開き側、本体が折戸側となります。</p>			